

優しさのおもてなしを

ホスピカインド

vol. 81
2024 SPRING

ホスピカインドとはhospitality(親切なもてなし)とkind(優しさ)の2つの単語を合成した造語です。翔仁会の願いがこめられています。この情報紙は輪厚三愛病院の機関紙です。

看護部長就任のご挨拶

輪厚三愛病院 特定技能実習生の近況報告

認知症について～当院の認知症看護認定ナースの取り組み

免疫力が上がる食べ物

研修会参加のお知らせ

翔仁会グループ
経営(診療)理念

『夢』

すべての利用者様に医療・福祉を介して
「夢」を実現する。
(「夢」とは心が満たされることである。)

wyw 輪厚三愛病院 基本方針

私たちは患者様とご家族様に、『夢』を提供します。
患者様とご家族様の笑顔が私たちの『夢』です。

- 1 私たちは、利用者様の尊厳と権利を重んじ、常に謙虚な気持ちで接します。
- 2 私たちは、プライマリーケアの精神を尊守し、実践します。
- 3 私たちは、プロとしての自覚をもち、質の高いサービスを提供します。
- 4 私たちは、常に最新の知識を学習し、自己研鑽の努力を怠りません。
- 5 私たちは、*EBMに基づき、インフォームドコンセントに努めます。
- 6 私たちは、よい職場環境を構築し、チーム医療を円滑におこないます。

*EBM (Evidence Based Medicine) 実証に基づいた医療

看護部長就任のご挨拶

看護部長 笠原 泰志



4月1日から嶺岸看護部長の後任として就任させていただきました笠原と申します。私が翔仁会に入職し13年が経ちました。入職時から介護老人保健施設エスポワール北広島で勤務し、様々な高齢者の生活を見せていただき、学ぶことがとても多かったと思います。

前任の嶺岸名誉看護部長は「笑顔と信頼の看護・介護」「地域に密着した看護・介護」「時代の要請に応えた看護・介護」を看護部理念として、看護部を牽引してこられました。その築いてきたことを引き継ぐ責任の重さを日々感じております。

日本の医療・介護は超高齢社会に向かい進んでいます。そのような社会背景からか看護・介護は多様な役割が求められるようになってきました。その中で翔仁会は「夢」(心が満たされること)を理念にし、質の高い医療・介護サービスの提供を目指しています。

私は当法人に就職し、初めて介護保険事業に携わり介護サービスを利用しながら生活することの大切さを実感しました。超高齢社会では健康年齢を維持することが重要だと感じております。そのためには、できる限り住み慣れた環境で生活し続けること、住み慣れた地域で過ごせることが大事ではないかと思えます。そこで看護・介護ができることは小さいことかもしれませんが、地域の役に立つことができるよう取り組んでまいります。また患者・利用者・家族皆様の声が看護師・介護職員を成長させてくれます。皆様の声を聴かせていただけるように努力をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

輪厚三愛病院 特定技能実習生の 近況報告

以前、当院の新入職員としてホスピカインドで紹介させていただいたミャンマーからの特定技能実習生3名へ、その後の状況等、それぞれの思いをお聞きしました！



2B病棟
ステッパインプーさん

北海道へ来る前は季節のことがちょっと心配でした。特に北海道の寒さを心配していましたが、実際は全然違いました。冬のみできるスキーや雪まつりなど、楽しい遊びを経験しました。北海道の美しさもわかりました。それらは北海道へ来て楽しい思い出となりました。

日本人とミャンマー人の考え方は同じではないので、両国の間に違う習慣があるはず。その中で一番驚いたことは、ミャンマーでは上司や年上の前を通る時は手を組むことが丁寧な態度ですが、日本では逆に失礼になるということです。

入職してみて大変だったことは、日本人とコミュニケーションを取ることです。なぜなら、ミャンマーでは日本人と直接話すことが全然なかったからです。でも今は、先輩たちが優しく教えてくれたおかげでよく話せるようになりました。職場で使用する専門用語は難しいです。でもわからない時は、誰かに聞くと簡単な日本語で説明してくれるため面白くなりました。それらを通して、今の仕事はやりがいのある仕事になりました。

こんにちは、ケックママーです。北海道で介護職員として働き1年となりました。仕事のことで不安もありましたが、先輩方のおかげで頑張ることができました。

北海道は行ってみたい場所の1つだったので、来られて嬉しかったです。北海道の花祭りや花火大会、雪まつりを見るのが楽しかったです。

ミャンマーとは異なり、日本の家は静かで、どこでも行列のシステムがあり、いつも挨拶することも驚きました。仕事で話す時わからないことがあると大変ですが、日本語はやりがいがあります。



3B病棟
ケックママーさん



3B病棟
ヨンティリノウンさん

北海道は自然豊かで観光名所です。食べ物も美味しく、面白い遊べる場所もたくさんあります。とても寒く、ニセコ、ルスツ、富良野などの有名なスキー場もあります。冬は雪がたくさん降るので、スキーやスノーボードもできます。北海道に来て、色々な遊びを行い、美味しい食べ物も食べれて楽しかったです。

国によって習慣や文化などが違うこともあると思います。例えば、日本では麺を食べる時に音を立てるのは普通ですが、ミャンマーではちょっと失礼な行為です。そんな面白くて違うこともいっぱいあります。

初めて仕事に入った時は、わからないことがいっぱいあって疲れました。でも先輩たちがちゃんと教えてくれて、前より良くできるようになりました。皆でよくコミュニケーションをとって、仕事も頑張れて楽しいです。

冬の
思い出



認知症について

当院の認知症看護認定ナースの取り組み

A-2F 病棟所属
認知症看護認定看護師 大石 京子

皆さんは、認知症をご存じでしょうか。昨今、テレビ報道や特集などで認知症を耳にすることも多いかと思えます。令和五年度の認知症での話題としては、アデュカヌマブという認知症の治療薬を作り米国で承認された、など様々な話題もありましたが、やはり、政府の法律として、認知症基本法が成立されたことではないかと思えます。国として認知症の人びとへの対応を国民全体で改めて理解し、みんなが支え合える社会を目指すという法律が出来たことは、年齢を重ねても住みやすい日本になっていくのではないかと期待しているところです。

そのことも含め、認知症とは何か、認知症を患った方々への正しい対応とは何かという2項目について順を追って話をさせていただきます。

まず認知症とは何か。

認知症とは「通常、慢性あるいは進行性の脳疾患によって生じ記憶、思考、見当識、理解、計算、学習、言語、判断など多数の高次脳機能障害からなる症候群」と診断基準としてあります。要は、「一度大人になり成長しきった脳の働きが徐々にうまく機能していかなくなる病気で、その病気の症状として記憶したり、考えたり、見当をつけたり、物事を理解できたり、計算や学習ができ、言葉を話し、総合的に考え判断するという、高いレベルでの脳の機能が障害を受けます」ということです。なんとなく想像いただけましたでしょうか？

なので、記憶が障害を受けると、なんども同じ話を聞いたりしてしまう行動や、今いる場所に見当がつけられないので、道に迷う、家に帰ることができなくなる、いつも見慣れた場所や人がわからなくなってしまうのです。総合的に判断できないので、動作が止まったり、困ることも多く、日常生活に大きな影響を与えてしまいます。

これらが症状として出てくると、日常生活に大きな影響を及ぼします。一緒に生活するご家族も大変であり、本人だって、大人になって当たり前に行っていたことができなくなっていく怖さや悔しさ、不便さは想像するだけで、とても大変だろうと思えます。



次に正しい対応とは何か。

ですが、前文を読んでいただければ、お読みになっている方なら、見当がつくのではないのでしょうか。ちょっとした手助けをしていただければと思います。

手助けは、介助したりすることだけでなく、迷っている時にそっと声をかけることも手助けに入ると私は考えます。寧ろ、できることまで奪うのではなく、声を都度かけることで、その人ので

きることをそのままできるなら、手を出さず声をかけるだけにとどまる方がいい。一つ例をだしてみます、掃除です。同じ場所を掃き掃除し続けてうまく進まないとき、取り上げてしまうのではなく、「ここにもごみがあるから、この場所も頼めますか？」と声をかけることで、同じ場所をやり続けていた方も別のところに移動できます。相手を訂正するのではなく、依頼する。正しい対応は、認知症の方1人ひとり違いますが、共通することは自尊心を傷つけず、そっと見守ること、せかさなないこと、声をかけてあげることが大切なのではないでしょうか。困りごとにそっと寄り添っていただけると、認知症の方も頼みやすいのではないのでしょうか。



スーパーなどで、支払いに手間取っている方がいたら、もしかして？と感を巡らせ気長に待つなど、ちょっとした配慮で、認知症の方にとって住みやすい社会は作れるのではないかと思います。ぜひ、認知症の方へ関心を持ち、今何に困っていて、何をしたらいつものその人に戻れるのか、気にかけてみてください。

認知症看護認定看護師とは？ 役割と活動、地域の方に向けて



こんにちは！私は認知症看護認定看護師の大石と申します。皆様、認知症看護認定看護師というのを聞いたことがありますでしょうか。看護師のなかにも、さまざまな19の専門分野(感染管理や手術看護、救急看護、糖尿病看護、緩和ケアなどなど)がある中で認知症という病気やケアに特化した専門の看護師です。

なぜ、私が認知症という病気に関してさらに学びを深めようと思ったのか。この場をお借りしまして、少しお話をさせていただけたらと思います。

当院は高齢の方々が多く入院されており、認知症を患っている方も多い状況です。もっと患者さん達が穏やかに笑顔で過ごすことはできないだろうか、そのためには何が必要なのか。今行っているケアは認知症患者さんが本当に求めている事なのか。看護師として、正しいケアを、自信をもって提供したい。考えた結果、認知症という病気や看護を専門的に学びにいきましょう！という考えに至りました。それが、認知症看護を選んだ、小さな出発点でした。

認知症の方々のお困り事に耳を傾け、少しでも幸せな時間が増えるように、心地よい生活だと思ってもらえるように、日々看護ケアを行っています。

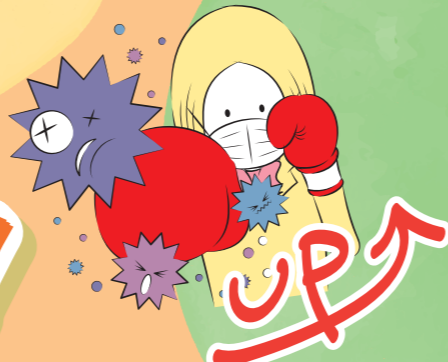
当院での認知症ケアの取り組みとして、認知症看護認定看護師が主催する認知症の理解を深める研修会の開催や、当院の認知症ケアのマニュアルの修正や追加、地域の交流会への参加、認知症に関する啓もう活動、新しい知識の獲得をして病院看護部へ普及活動をするなどを行っています。令和5年度より積極的に活動し始めたため、病棟より患者さんへの対応の相談事は数件にとどまっていますが、数名ずつでも穏やかに過ごせる患者さんが増えていることが、とても幸せです。

当院では、認知症かかりつけ医の資格を持つ医師も数名在籍しております。

地域の方へ、もし認知症でお困りの方やそのご家族の方がいらっしゃいましたら、お話を聞くことも含めて支援させていただきたいと思っています。もしかしたら認知症かも…と不安に思うことがありましたら遠慮なく当院へお声がけください。何かあったら、頼れる場所があるというだけでも、心強く、日々を過ごしていけるのではないかと考えております。

認知症があってもなくても、安心した日々を平等にみんなが持てるように、一緒に力を合わせていきたいと思っています。

免疫力が上がる食べ物!



暖かい春を迎え、体が調子を整え始める季節になりました。気候の変化やアレルギーなどで体調を崩しやすいこの時期、体の免疫力を高めてくれる食べ物を食卓に取り入れてみてはいかがでしょうか？

腸内細菌を増やす

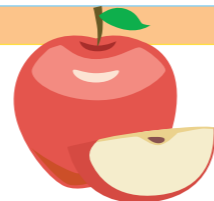
ヨーグルト、味噌などの発酵食品



体にある免疫細胞の多くは腸内に存在しているので、腸内環境を整えることが免疫力を高めるポイントです。ヨーグルトに含まれる善玉菌のビフィズス菌や乳酸菌は、腸で悪玉菌の増殖を抑え、腸内環境を整える効果が期待できます。善玉菌は食生活の乱れやストレスによって減少するとされているので、腸内バランスを維持するために毎日食べて善玉菌を増やすように働きかけましょう。

抗酸化作用を活性化させる

ビタミンA、C、E



細胞を壊してしまう活性酸素の働きを抑えてくれます。活性酸素が過剰に増えると免疫細胞も傷つけられてしまいます。「1日1個のりんごは医者いらず」と言われるほど昔から健康にいい果物として親しまれてきました。高い抗酸化力を持つ「りんごポリフェノール」は皮に多く含まれているので、皮つきのままオーブンで焼いたり、皮ごと擦りおろしてヨーグルトに混ぜたりして食べるのがおすすめ。

免疫細胞をつくる

タンパク質が豊富な魚類、肉類



免疫細胞は昼夜を問わず働き続けているので、毎日大量に消費されます。消費した分を補えるよう、十分に摂取しましょう。

魚介類では、マグロやカツオなどの脂質の少ない魚にタンパク質が多く含まれます。特にマグロやカツオなどの赤身魚は鉄の補給にもぴったりの食材です。

鉄が不足しがちな女性、運動をする方、高齢者、子どもの栄養補給によいでしょう。

免疫力を高めるためには、ストレスのコントロール、十分な睡眠、適度な運動など大切な事がいろいろありますが、免疫力には毎日の食生活が大きく影響しています。免疫力アップにつながる食材を使って、食事を楽しみながら自分の腸内環境を優しく育む気持ちでケアしていきましょう。

研修会参加のお知らせ(令和5年12月～令和6年3月)

| 内 容 | 所 属 | 人 数 |
|-----------------------------------------------|-------|-----|
| 日本医療法人協会 経営セミナー | 医局 | 1 |
| 糖尿病学の進歩 | 医局 | 1 |
| 看護職のキャリアにおける社会人基礎力育成のあり方 | 看護部 | 4 |
| 医療事故における看護師の法的責任と看護記録 | 看護部 | 1 |
| 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 | 看護部 | 1 |
| 2023年度 地域における看護職等の連携シンポジウム | 看護部 | 1 |
| 2023年度 第5回全国研修会(専門講座) | リハビリ科 | 1 |
| 認知神経リハビリテーション インタラクティブセミナー 2023札幌 | リハビリ科 | 1 |
| 協会指定研修カリキュラム | リハビリ科 | 1 |
| 滋賀県言語聴覚士会 研修会「STが関わる介護保険サービスについて」 | リハビリ科 | 1 |
| 大分県言語聴覚士協会 専門講座 「ST業務に役立つ、疾患別濃画像読影と臨床への活用」 | リハビリ科 | 1 |
| 2023年度 愛知・岐阜・三重県言語聴覚士会3県合同 基礎講座 | リハビリ科 | 1 |
| 第17回 北海道言語聴覚士会 学術集会 | リハビリ科 | 2 |
| 第3回 札幌支部講習会「災害リハビリテーション導入研修in札幌」 | リハビリ科 | 3 |
| 札幌市脳卒中地域連携パスネット協議会 第59回合同会議 | 医療福祉課 | 1 |
| 職域型年金委員事務講習会 | 経理課 | 1 |
| 令和6年税制改正セミナー | 経理課 | 1 |

～学びや感想など～(一部抜粋)



<看護部>

- 普段話をきく際に、相手の意見に同感したり反対意見を述べたりと自分の意見や感想を考えていた。しかし自分自身異なる意見を持っていたとしても、いったんはその判断を保留して「相手の関心事」に関心を向けるような「聴く」という姿勢が大切だと気づいた。チーム力を高めていく上でも、相手が考えを言えるような時間を作り、「どうしてそう思うのか」「どのように考えて行動したのか」など問いかけていく関わりが大切だと学ぶことができ、日々スタッフとの関わりの中で意識していこうと思う。
- ①個人の責任を問われることがある ②悪い結果＝法的責任ではない ③記録がないと事実と認めてもらえない この3点の重要性を学んだ。今後の看護記録に活用していきたい。
- どの看護師が情報収集しても患者説明をしても、同じ対応ができるように看護師の知識向上にも努めていきたい。そのためには、情報収集時に聞き取るべき項目のツールがあると良いと思ったので作り上げていきたい。当法人も介護施設は併設されているが、病院看護師がその機能を十分把握しているとは言い難いため、法人全体で互いの施設機能を理解し、活用しながら在宅療養へつなげられたらと思う。

<リハビリ科>

- 地域包括ケアシステムは地域の主体性などにより市区町村が作り上げていくということで、自分の所属している地域のことももっと知らなければいけないと思った。また、老健・特養での加算や求められるものが少しずつ異なることも勉強になった。
- 久々の対面形式の研修で、研修内容以外でも他のSTとの情報交換等が行え、貴重な時間を得ることができた。栄養から嚥下面と、今後注目される内容の最新の動向も知れ、今後の臨床での注目する点も理解でき大変勉強になった。
- 災害リハビリテーションを初めて学び、災害現場でもPTとして出来ることがあるという点を学べた。そしてまだまだ改善すべきこともあると知り、今後自分の地域でも災害発生時にどのようにすべきか学んでいければと思う。

通所リハビリ、訪問リハビリ
 認知症対応型通所介護
 短期入所(ショートステイ)
 中期入所(ミドルステイ)
 居宅介護支援
 地域包括支援センター

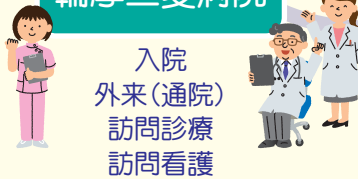
在宅サービス



翔仁会では、

医療・看護・リハビリ・介護について
 包括的、継続的に在宅支援の
 お手伝いをさせていただきます！！

輪厚三愛病院



入院
 外来(通院)
 訪問診療
 訪問看護

介護施設



老健エスポワール北広島
 グループホーム雪ぼうし
 介護付有料老人ホーム
 悠々

訪問看護ステーション リエゾン

- 日々の健康管理、相談
- 日常的な看護、医師の指示による医療処置や管理
(痰吸引、胃ろう、尿カテーテル、在宅酸素など)
- 療養生活や介護方法の助言
- 内服管理
- 在宅でのリハビリテーション
- 認知症のケア、ターミナルケア etc

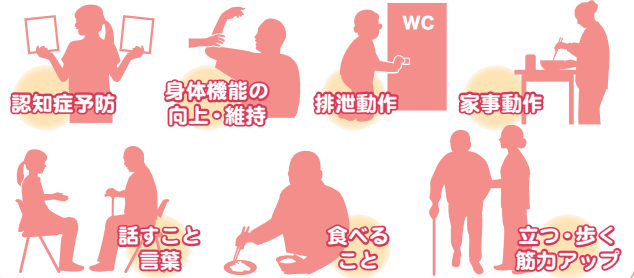


リハビリテーション

理学療法

作業療法

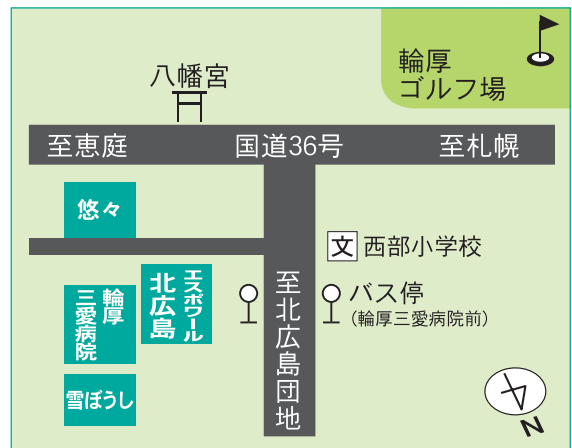
言語聴覚療法



ご紹介と案内図

翔仁会

| | |
|--------------------|-------------------|
| 輪厚三愛病院 | TEL (011)377-3911 |
| 介護老人保健施設 エスポワール北広島 | TEL (011)376-3911 |
| 訪問看護ステーション リエゾン | TEL (011)376-0505 |
| 居宅支援相談センター「きぼう」 | TEL (011)376-3911 |
| 北広島市にし高齢者支援センター | TEL (011)370-3922 |
| グループホーム「雪ぼうし」 | TEL (011)377-3914 |
| 介護付有料老人ホーム「悠々」 | TEL (011)377-1101 |



外 来

| | | | |
|----|-------|-------|-------------------------------------|
| 医師 | 消化器科 | 對馬 伸泰 | 村上 研 |
| | | 寺本 順子 | 沼田 隆明 |
| | 整形外科 | 安念 俊二 | (午前のみ) |
| | 皮膚科 | 松坂 英信 | (月・木 午前/午後) (火・金 午前のみ) ※水曜日休診 |
| | 循環器内科 | 本間 之子 | (金曜日午前のみ) |
| | 脳神経内科 | 枝村 正人 | |

診察時間/午前 9:00 ~ 12:00
 午後 1:00 ~ 5:00
 土曜・日曜・祝日休診

歯 科

医師 對馬眞智子
 診察時間/午前 9:00 ~ 12:00
 午後 1:00 ~ 5:00
 土曜・日曜・祝日休診



翔仁会ホームページ

<http://www.shojinkai.or.jp>

院長ホットファックス 011-377-7790

院長へ直通のファックスダイヤルです！何かお気付きの点がございましたらお気軽にご利用くださいませ。

ホスピカインド vol. 81
 2024 SPRING

発行日 令和6年4月26日
 編集 医療法人社団 翔仁会 〒061-1264 北広島市輪厚704
 TEL 011-377-3911 FAX 011-376-3526